

カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター

実施機関名：合同会社産業経営研究所

バックオフィス	新技術活用	職業能力の整理とノウハウの継承
---------	-------	-----------------

コースのねらい	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がこれまで培った職業能力を明確にするための知識と技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 ノウハウ伝承の重要性	(1) 知識や技能・技術の伝承の重要性 ・企業の技術競争力を強化していくためには、中堅・ベテラン従業員が培ってきた技術・技能を円滑に承継することによる、技術・技能人材の質の向上が重要であることについて解説する。 (2) 形式知と暗黙知 【演習あり】 ・個人や組織の間の社会的な相互作用の中で創造される知識、客観的で理性的な知識である形式知、主観的で身体的な知識である暗黙知に係る基本的考え方について解説する。 ・知識創造理論における知識変換活動について、経験の共有によって体得する、暗黙知を第三者にもわかりやすいように言葉に変換する、グループ・レベルの形式知を組織レベルの形式知に変換する、自分の中に知識を再び取り組むの4つの変換プロセスの考え方について解説する。 ・知識変換活動の現状をグループワークにより検討する。	1.5
	2 職業能力の洗い出し	(1) 職務経歴の振り返り 【演習あり】 ・職場での体験、仕事への取り組み方など自身の経験を整理する考え方について解説し、個人ワークにより検討する。 ・これまで培った経験を活かすため、自分の職業能力(知識と技術・技能)を整理・分析し現状を把握する考え方について解説し、個人ワークにより検討する。 (2) 職務及び職業能力の洗い出し 【演習あり】 ・自身のキャリア(職業人生)、職業能力を意識して、仕事の種類別に具体的仕事を整理する考え方と仕事のプロセス別に具体的仕事を整理する考え方について解説し、個人ワークにより検討する。 ・資格、実務経験、強み、人脈の視点を組み合わせる職業能力を整理する考え方を解説し、個人ワーク、グループワークにより検討する。	2.5
	3 職業能力の明確化	(1) 職務に求められる知識・技能の明確化【演習あり】 ・職務に求められる知識・技能を「継承する知識・技能」、「向上を目指す知識・技能」、「獲得する知識・技能」に分類整理し明確にする考え方を解説し、個人ワーク、グループワークにより検討する。 (2) 職業能力(知識、技能、技術)の明確化 【演習あり】 ・知識変換活動に自分自身が取り組むべき(取り組みたい)知識、技能、技術と変換プロセスの組み合わせで、職業能力を整理し明確にする考え方を解説し、個人ワーク、グループワークにより検討する。	2.0
		合計時間	6.0

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
	・PC(講師用) ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード
●使用するテキスト	●その他
・オリジナルテキスト	

利用事業主に用意を求める機器等	備考
・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(赤・黒)	・自己分析、職業能力の洗い出し、職業能力の明確化の演習により講義内容の定着を図る。